

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県地方独立行政法人神戸市民病院機構 西神戸医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	30	対象	透I訓ガ	救臨が感地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	41,848	非該当	非該当	7：1

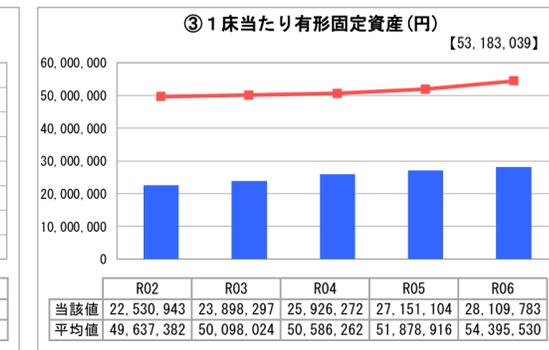
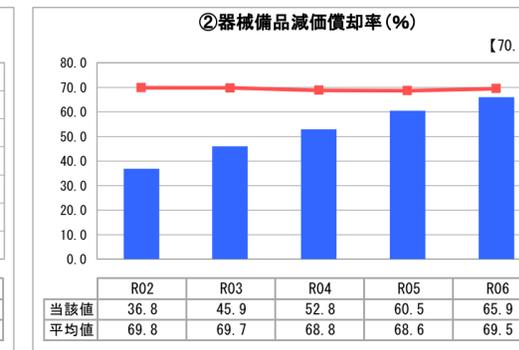
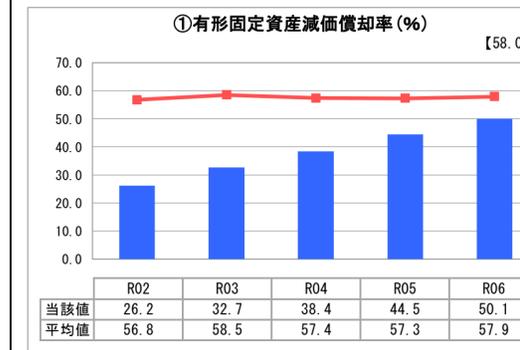
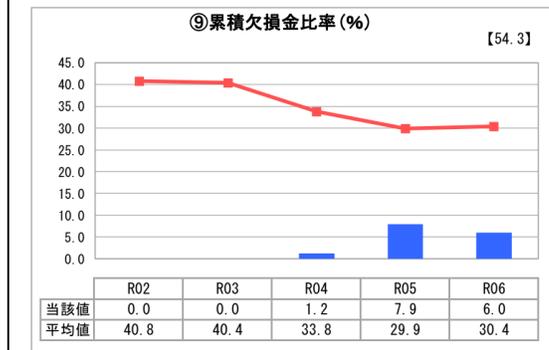
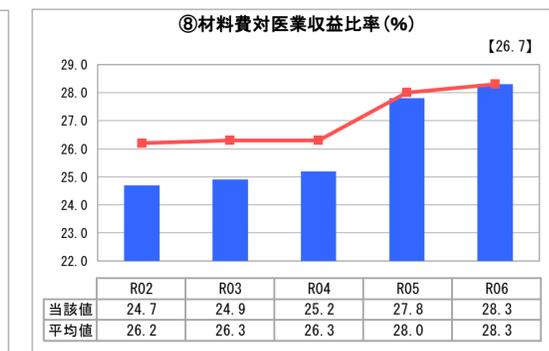
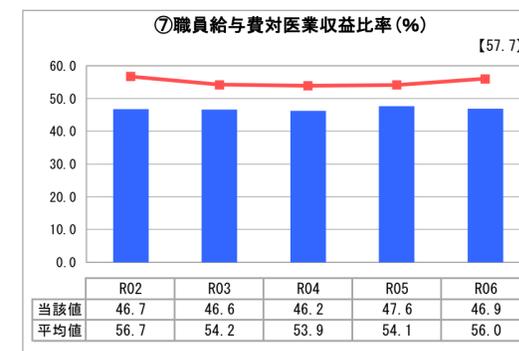
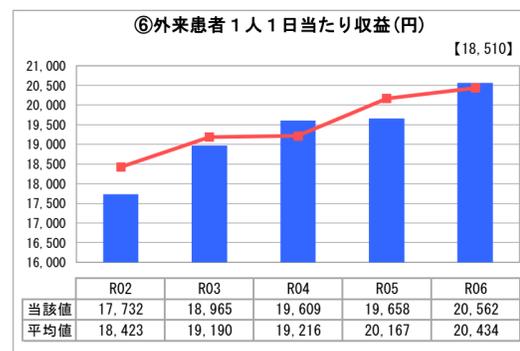
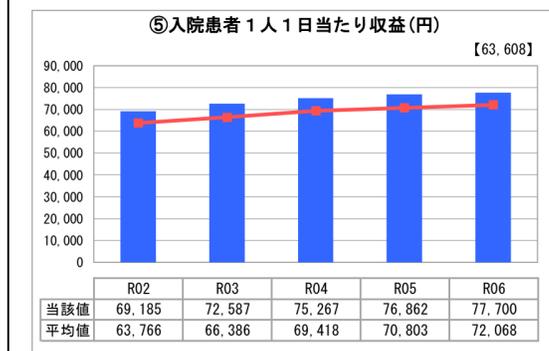
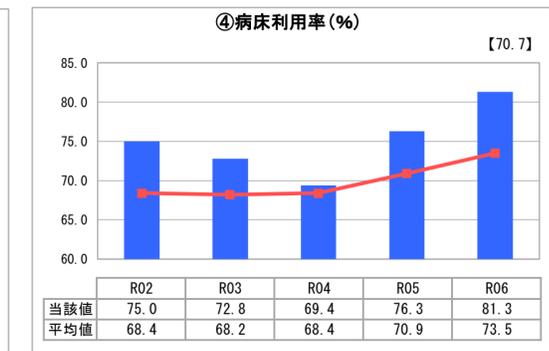
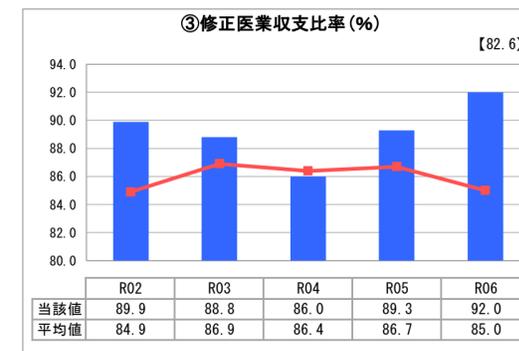
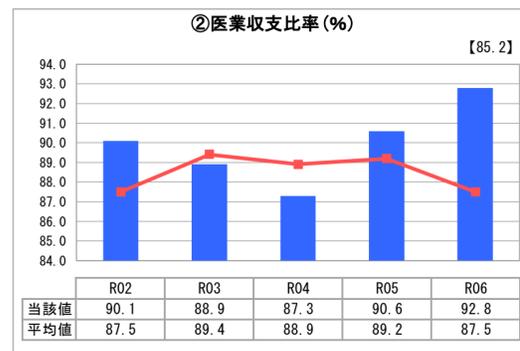
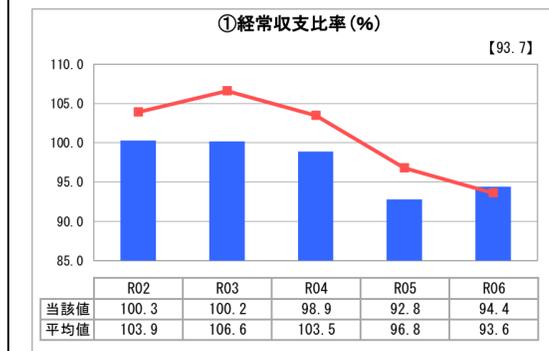
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
425	-	45
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	470
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
418	-	418

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

神戸西地域における中核病院として、高度医療・急性期医療・結核医療等を安定的に提供するとともに、地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携及び支援に取り組んでいる。また、地域がん連携拠点病院としての役割を担っている。  
※平成29年4月に旧神戸市地域医療振興財団から移管。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

年間を通じて病床利用率はコロナ前の水準には回復しなかったものの、内科当直の増員や、病床利用率・救急外来ベッドに関する院内での情報共有の方法を改善し、救急入院をより円滑に受け入れた結果、救急入院患者数は過去最高となり、新入院患者数は前年度比で増加した。また、外来においても化学療法件数の増加により診療単価が増加したことで、医業収益は前年度より増収となった。費用については、清掃業務の直営化による経費削減や同等品切替等による診療材料費の削減などに取り組んだものの、患者数増加に伴う医薬品費の増加や給与改定等に伴う給与費の増加により医業費用は前年度より増加となった。医業収支としては好転したものの、病床利用率が計画値に届かなかったことも影響し、経常損益は赤字となった。

### 2. 老朽化の状況について

平成29年4月の移管に伴い、設立団体から病院建物の出資を受けたことで有形固定資産減価償却率は平均値を下回っている。また、移管以降に機器等整備を進めたことから器械備品減価償却率は平均値を下回っているが、増加傾向にあるため、計画的な更新を進めていく必要がある。また、病院建物についても築後31年が経過していることから、維持管理に努めており、今後も建物改修、設備更新を計画的に行っていくこととしている。

## 全体総括

令和6年度においても、新型コロナウイルス感染症対応に伴う診療制限の影響があり、入院・外来ともに患者数の確保が困難な状況が続いた。地域医療機関との連携の強化など経営改善策を講じた結果、年度後半には患者数に回復傾向が見られたものの、エネルギー価格の高騰や物価動向に伴う経費等の大幅な増高等により医薬品費を中心に医業費用の増加は著しく、徹底した価格交渉など経費削減を進めたものの、医業費用は前年度を上回り、厳しい経営環境が続いている。そのため、持続可能な病院経営の実現に向けて、3か年以内に単年度黒字の達成を目指し、収益面においては、患者数の早期回復等に注力し、費用面においては、委託費等の固定費を含めた徹底的な経費削減に取り組むこととしている。特に費用面においては、委託業務を中心に他院比較を行いながら、事業者とも協議のうえ、業務内容の見直しを進めているほか、後発医薬品の積極的な活用や診療材料等の調達方法の見直しなど、あらゆる観点から経費削減に取り組んでいる。また、職員体制についても、抜本的な事務の見直し及び運営体制の最適化に取り組み、今後もより一層の経営改善を図っていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。